

# 業務状況の公表

## 鹿屋市告示第12号

地方公営企業法第40条の2第1項及び鹿屋市水道事業の設置等に関する条例第7条の規定に基づき、平成31年3月31日現在の鹿屋市水道事業の業務状況を次のとおり公表する。

令和元年6月1日

鹿屋市長 中西 茂

## 目 次

1	事業の概要	1
2	業務量	1
3	経理の状況	2
4	企業債の状況	2
5	平成30年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況	3
6	令和元年度鹿屋市水道事業当初予算の概要	5

## 平成30年度 鹿屋市水道事業下半期業務状況説明書

### 1 事業の概要

本年度は、本市水道事業が目指す将来像や目標、実現方策を示す「水道ビジョン」と「経営戦略（投資・財政計画）」を合わせた、今後10年間の中長期的な経営の基本計画を策定した。

また、漏水の原因となる老朽管の更新や、道路改良等に伴う配水管整備及び基幹管路等の耐震化を実施し、災害に強い管路の構築に努めた。

### 2 業務量

区 分 \ 年 度 別	平成30年度 下 半 期	平成30年度 上 半 期	増 減	平成30年度末 現 在
給水区域内人口 (A) (人)	99,277	100,507	△ 1,230	99,277
現在給水戸数 (戸)	47,638	47,971	△ 333	47,638
現在給水人口 (B) (人)	97,647	98,797	△ 1,150	97,647
(B) 普及率 — ×100 (%) (A)	98.36	98.30	0.06	98.36
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	6,565,067	6,602,720	△ 37,653	13,167,787
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	5,151,058	5,327,663	△ 176,605	10,478,721
有 収 率 ( % )	78.46	80.69	△ 2.23	79.58

※ 普及率及び有収率の増減の単位はポイントである。

### 3 経理の状況

#### (1) 収益的収入及び支出

(単位:円)

収 入	区 分	現行予算額	執行額		決算額	予算に対し 増 減 額
			下半期	上半期		
	水道事業収益	1,795,853,000	963,213,722	873,041,601	1,836,255,323	40,402,323
	営業収益	1,692,631,000	840,850,832	867,472,016	1,708,322,848	15,691,848
	営業外収益	103,212,000	122,362,890	5,569,585	127,932,475	24,720,475
	特別利益	10,000	0	0	0	△ 10,000
支 出	区 分	現行予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
	水道事業費用	1,539,667,000	1,017,811,031	444,005,367	1,461,816,398	77,850,602
	営業費用	1,386,725,000	919,214,079	416,164,287	1,335,378,366	51,346,634
	営業外費用	137,832,000	98,596,952	27,841,080	126,438,032	11,393,968
	特別損失	110,000	0	0	0	110,000
	予備費	15,000,000	0	0	0	15,000,000

#### (2) 資本的収入及び支出

(単位:円)

収 入	区 分	現行予算額	執行額		決算額	予算に対し 増 減 額
			下半期	上半期		
	資本的収入	26,604,000	26,170,406	0	26,170,406	△ 433,594
	負担金	19,920,000	19,280,103	0	19,280,103	△ 639,897
	補助金	96,000	312,000	0	312,000	216,000
	固定資産 売却代金	10,000	0	0	0	△ 10,000
	出資金	6,578,000	6,578,303	0	6,578,303	303
支 出	区 分	現行予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
	資本的支出	563,390,000	283,354,973	223,992,455	507,347,428	56,042,572
	建設改良費	393,401,000	197,820,773	139,538,483	337,359,256	56,041,744
	企業債 償還金	169,989,000	85,534,200	84,453,972	169,988,172	828

### 4 企業債の状況

(単位:円)

前年度末残高	本年度借入額	下半期償還高	上半期償還高	本年度末残高
2,718,698,445	0	85,534,200	84,453,972	2,548,710,273

5 平成30年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況 (消費税抜)

(平成31年3月31日)

資 産 の 部

(単位：円)

1	固 定 資 産			
	(1)有形固定資産			
	イ 土 地	626,100,707		
	減損損失累計額	<u>△ 14,543,133</u>	611,557,574	
	ロ 建 物	1,332,448,559		
	減価償却累計額	△ 436,444,414		
	減損損失累計額	<u>△ 5,610,265</u>	890,393,880	
	ハ 構 築 物	22,129,379,005		
	減価償却累計額	△ 11,234,194,040		
	減損損失累計額	<u>△ 29,587,575</u>	10,865,597,390	
	ニ 機 械 及 び 装 置	2,201,524,660		
	減価償却累計額	△ 1,543,763,720		
	減損損失累計額	<u>△ 9,997,525</u>	647,763,415	
	ホ 車 両 運 搬 具	41,884,773		
	減価償却累計額	<u>△ 36,978,697</u>	4,906,076	
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	90,619,338		
	減価償却累計額	△ 61,776,714	28,842,624	
	チ 建 設 仮 勘 定		16,411,524	
	有形固定資産合計		<u>13,065,472,483</u>	
	(2)無形固定資産			
	イ 電 話 加 入 権		723,751	
	ロ 施 設 利 用 権		<u>165,228</u>	
	無形固定資産合計		888,979	
	(3)投資その他の資産			
	イ 投 資 有 価 証 券		<u>100,000</u>	
	投資その他の資産合計		<u>100,000</u>	
	固定資産合計		<u>13,066,461,462</u>	
2	流 動 資 産			
	(1)現 金 預 金		2,575,295,122	
	(2)未 収 金	310,474,714		
	未収金貸倒引当金	<u>△ 6,747,208</u>	303,727,506	
	(4)貯 蔵 品		9,569,400	
	(8)その他流動資産		<u>1,200,000</u>	
	流動資産合計		<u>2,889,792,028</u>	
	資 産 合 計		<u><u>15,956,253,490</u></u>	

## 負債の部

(単位：円)

3	固定負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良費財源に充てるための企業債		2,381,160,520	
	(4) 引当金			
	イ 退職給付引当金		304,424,000	
	固定負債合計		2,685,584,520	2,685,584,520
4	流動負債			
	(2) 企業債			
	イ 建設改良費財源に充てるための企業債		167,549,753	
	(5) 未払金		38,752,293	
	(8) 引当金			
	ロ 賞与引当金	18,477,720		
	ハ 法定福利費引当金	3,678,190		
	引当金合計		22,155,910	
	(10) その他流動負債		4,035,988	
	流動負債合計		4,035,988	232,493,944
5	繰延収益			
	(1) 長期前受金		1,855,323,443	
	(2) 長期前受金収益化累計額		△ 1,270,952,858	
	繰延収益合計		584,370,585	584,370,585
	負債合計		3,502,449,049	3,502,449,049

## 資本の部

6	資本金			11,405,801,733
7	剰余金			
	(1) 資本剰余金			
	イ 受贈財産評価額	71,601,523		
	ハ 工事負担金	99,108,231		
	ニ 補助金	6,999,834		
	資本剰余金合計		177,709,588	
	(2) 利益剰余金			
	ロ 建設改良積立金	56,989,317		
	ハ 当年度未処分利益剰余金	813,303,803		
	利益剰余金合計		870,293,120	
	剰余金合計		1,048,002,708	1,048,002,708
	資本合計		12,453,804,441	12,453,804,441
	負債資本合計		15,956,253,490	15,956,253,490

## 6 令和元年度鹿屋市水道事業当初予算の概要

### (1) 経営方針

本市の水道事業を取り巻く環境は、人口減少等により水道料金の増収が見込まれないことや、施設の老朽化及び耐震化に伴い増大する更新需要への的確な対応、技術職員及び経理事務職員の人材確保など、懸念される課題が顕在化しています。

このようなことから、将来にわたって安全で良質な水の安定的な供給を持続していくために、平成 30 年度に策定した「鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）」で掲げた実現方策を適切かつ計画的に推進し、将来を見据えた施策事業の構築に努めます。

### (2) 業務の予定量

① 給水戸数	47,500 戸
② 年間総配水量	12,834,969 m <sup>3</sup>
③ 1日平均配水量	35,164 m <sup>3</sup>
④ 主要な建設改良事業 イ 送配水設備ほか改良事業	357,877 千円

### (3) 主な重点施策

#### ① 水道施設拡張事業

市成水源地の硝酸態窒素の上昇及び高松水源地の水量減少への対応や鹿屋・串良・吾平地域の配水系統の効率化を図るため、新規水源開発に必要となる電気探査やボーリング調査を実施します。

#### ② 水道施設維持管理事業

法定耐用年数が経過している浄水施設や送水施設等を年次的に更新し、施設の健全化を図ります。

#### ③ 未給水地区整備事業（中山地区）

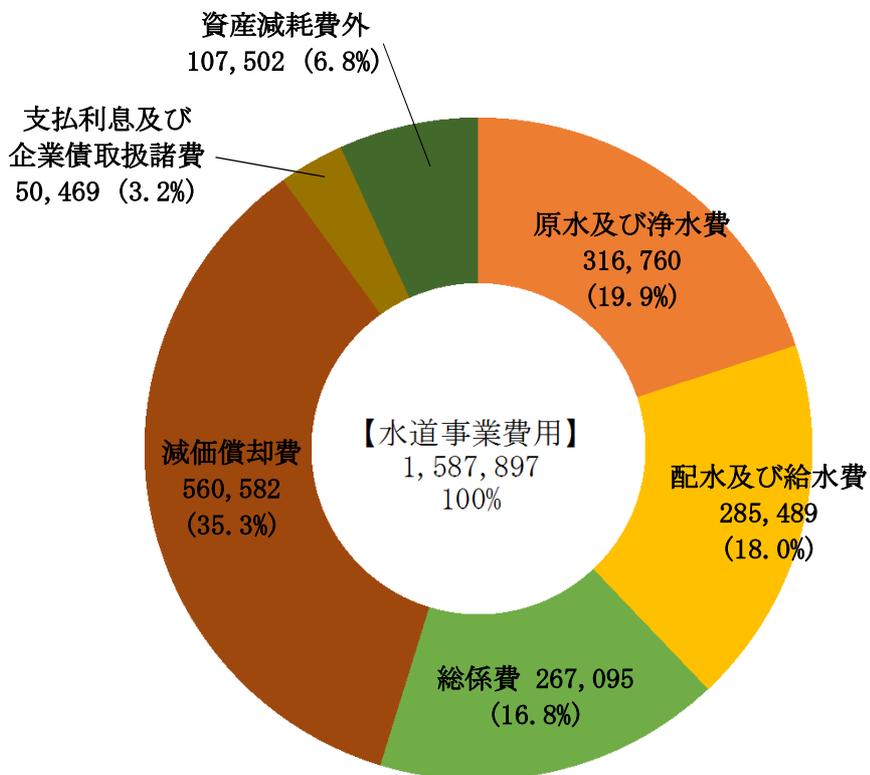
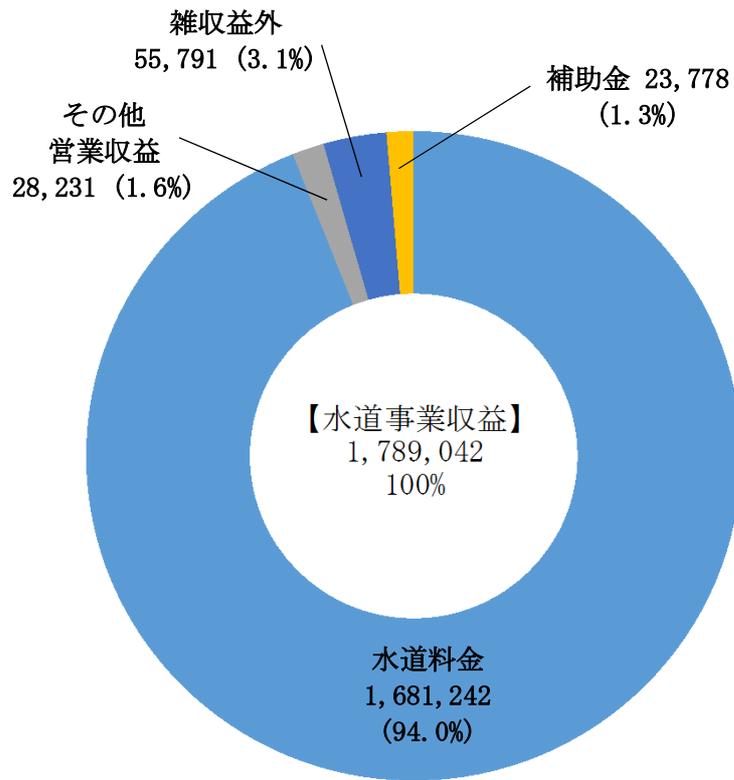
未給水地区である中山上地区・中宿地区を年次的に整備し、水の安定供給を図ります。

#### ④ 基幹管路耐震化整備事業

災害時に主要拠点となる避難所等への配水管の耐震化を図ります。

(4) 収益的収入及び支出

(単位：千円)



(5) 資本的收入及び支出

(単位：千円)

